

園芸科学科3年 水梨七宥さん

園芸科学科2年 木戸脇冬華さん

米国、ブラジル、オランダで研修 海外実習の抱負を語る！



昭和53年から続く県教委の事業の一環で、農業を学ぶ高校生が派遣される。新型コロナウイルス

農業学ぶ高校生を海外へ派遣 高山から水梨さんと木戸脇さん

野菜の栽培を学ぶ飛騨高山・園芸科学科の水梨七宥さん(3年)と木戸脇冬華さん(2年)が、14日から海外を訪れて現地の農業に触れることから「海外の大規模なやり方を学びたい」と意欲を見せる。

2人の実家はミニトマトやパプリカ、ホウレンソウを育てる農家で、いづれ継ぐ考え。渡航を控えた5日に田中市長を訪ね(左写真)、水梨さんは「海外からヒントを得て、日本の農業の未来を考えます」、木戸脇さんも「各国と日本の進め方を比べたい」と抱負を話した。